

チャバネゴキブリ

分類 ゴキブリ目チャバネゴキブリ科

学名 *Blattella germanica*

英名 German cockroach



■解説^{2) 3)}

本種は、都市部を中心として全国的に分布し、世界的にも最も広く普遍的に分布する。低温に弱く、日本では無加温の場所では越冬できないため、暖房あるいは熱源のある場所で越冬する。そのため、オフィス、ビル、ホテル、飲食店、病院、新幹線、または、コンクリート構造、断熱構造の建物に生息し、都市地域・市街地域で多く見られる。

■体長

卵 : 卵鞘 8×3 mm³⁾
幼虫 : -
蛹 : -
成虫 : ♂ : 12mm、♀ : 11mm³⁾

■産卵数

産卵数/生涯 : 3～7個(卵鞘)¹⁾
産卵数/1卵鞘 : 40～50個¹⁾

■ライフサイクル

卵 : 21～28日¹⁾
幼虫 : 40～70日¹⁾
蛹 : -
成虫 : 90～150日¹⁾

■発育零点(発育停止温度)

-

【参考文献】

- 1) 佐藤仁彦：生活害虫の事典、p136、朝倉書店(2003)
- 2) 安富和男・梅谷献二：衛生害虫と衣食住の害虫、p35、全国農村教育協会(1983)
- 3) 緒方一喜：ゴキブリと駆除、p14-22、日本環境衛生センター(1988)